

総合評価方式の評価について

H23.12.2
技術管理課
(速報値)

総合評価方式を評価する視点

総合評価方式は、**価格**だけでなく、**技術力**もある会社と契約を結ぶこと、そして、**良い工事目的物**を完成させることを目的としている。

このことから、**入札段階**と**竣工段階**で評価する。

○ 試行件数

年度	件数
H18	4件
H19	10件
H20	137件
H21	115件
H22	125件

391

入札段階の評価

・落札した会社は、**技術点・価格点共に上位**である。
年々その傾向が強くなっており、技術点1位の割合も高くなっている。

・技術点・価格点共に1位でなくても、**総合的に評価され**、落札している。

○ 総合評価方式の入札結果

年度(入札)	H18・19	H20	H21	H22
技術点1位	14% (2件)	49% (67件)	67% (77件)	84% (105件)
価格点1位	50% (7件)	46% (63件)	56% (64件)	74% (92件)
技術点・価格点共に1位	0% (0件)	14% (19件)	34% (39件)	63% (79件)
技術点・価格点共に1位以外	36% (5件)	18% (26件)	11% (13件)	6% (7件)
平均技術評価順位	3.9位	2.6位	1.8位	1.4位
平均価格評価順位	2.3位	3.1位	2.6位	2.3位
平均入札参加者数	17.8社	18.9社	18.0社	16.2社

14

137

115

125

竣工段階の評価

検査結果から、全体的に、工事成績の平均点は、総合評価方式による工事で高い点数になっており、

竣工段階でも、よい成績を残している。

○ 工事成績(竣工検査)の比較

入札方式の種別	工事成績の平均点				
	H19	H20	H21	H22	
一般競争入札 (総合評価方式を除く)	74.3	74.0	75.6	76.5	
総合評価方式	全体	77.4	75.0 (75.0)	76.1	77.2 (77.6)
	簡易型	77.0	73.0 (76.0)	79.4	79.1
	特別簡易型	80.0	75.0	75.8	77.0 (77.4)

※H18年度は竣工なし

※：()内は特異値を除く

まとめ

以上により**総合評価方式**は、

- ・「**価格と技術力を持ち合わせた会社との契約**」
- ・「**質の高い工事目的物の完成**」

という目的に対して、**効果が出ている。**

○ 平成23年度試行にあたっての改善事項

課題	改善事項
技術評価の重視	・技術評価点と価格評価点の配分の見直し ・工事の施工能力等の施工実績評価タイプの拡充
評価項目の追加	・工事の施工能力の評価項目（技術者の同種工事の工事成績）の追加 ・地域貢献度の評価項目（市内企業の活用）の追加